

(案)

資料 4-2

様式第 5 - 1 (日本工業規格 A 列 4 番)

平成 2 8 年 4 月 1 1 日

国土交通大臣 殿

住 所 愛知県小牧市堀の内三丁目 1 番地
氏名又は名称 小牧市地域公共交通会議
会長 磯 部 友 彦 印

平成 2 8 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業 (計画策定事業)) 交付申請書

平成 2 8 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通調査事業 (計画策定事業))
金 3, 6 0 0, 0 0 0 円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 (昭和 3 0
年法律第 1 7 9 号) 第 5 条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

(案)

様式第5-1 別紙

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業(計画策定事業)) 交付申請事業

補助対象事業者名 小牧市地域公共交通会議 (単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
小牧市地域公共交通網形成計 画策定に係る調査事業 ・地域特性と公共交通の現状整理 ・公共交通ネットワーク評価に関 する全国事例の収集・分析 ・各種ニーズの把握 ・地域公共交通の課題整理 ・協議会の開催	着手予定日: 交付決定日以降 完了予定日: 平成29年3月31日	25,999,100	3,600,000

(添付書類)

(1) 補助対象経費に係る見積書

(2) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業（計画策定事業）の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は名古屋市の北方約15km、濃尾平野のほぼ中央に位置し、市域面積は62.81k㎡であり、名神高速道路・東名高速道路・中央自動車道の3大ハイウェイの結節点や県営名古屋空港を有する立地条件にも恵まれ、陸上交通要衝都市の性格を有する内陸工業都市として発展を遂げてきた。昭和後期には東部丘陵に桃花台ニュータウンが造成され、さらに平成15年3月には名鉄小牧線が平安通に連絡し、名古屋市へのアクセス利便性が向上したことなどから名鉄小牧線沿線をはじめとして人口は増加し、平成27年10月現在で153,728人の人口を有している。また、市内には、市のシンボルであり国の史跡指定を受けている小牧山のほか、天下の珍祭で知られる田縣神社、高名な画家の作品収蔵で知られるメナード美術館などの観光・文化施設が立地し、さらには魅力あるイベント・まつりを数多く開催するなど、広域的な魅力ある観光地域づくりに取り組んでおり、市外からの来訪者も多い。

公共交通については、広域的な公共交通網として、市内を南北に名鉄小牧線が通り、小牧駅から名古屋市中心部の栄までは約30分、名古屋駅までは約40分でのアクセスが可能であり、乗降客数数は増加傾向にある。また、恵まれた高速道路網を活かし、名古屋市中心部への高速バスに加え、県外への高速バスも運行されている。一方、地域内の交通を担うバス路線については、名鉄バス(株)とあおい交通(株)により路線バスが運行されているほか、交通空白地域の解消と公共施設の利用促進を主な目的として、コミュニティバス（こまき巡回バス）を市が運行している。本市のバス交通については、平成26年8月に名鉄小牧線間内駅と名鉄犬山線岩倉駅を結ぶ名鉄バスの路線が新設され、また、コミュニティバスについては、平成27年4月に市内の南部・中部・西部・北里地区においてコース数の増加や運行間隔の短縮を図り、さらには平成28年4月には残る市内の北部・東部地区においても同様に拡充を行うなど、近年、サービスレベルの向上が図られている。

しかしながら、過去からの相次ぐ民間バス路線の撤退や、平成18年10月の新交通システム桃花台線の廃止等を背景に、市民の公共交通に対する満足度は低い状況にあり、公共交通に対するニーズの多様化によりサービス内容の改善に関する様々な要望が寄せられている。このような中、コミュニティバスについては、3年ごとに見直しを検討することとしているが、利用状況や環境の変化等によるサービス水準の変更についての方針や指標が明確には定められていないことが問題点となっている。

また、本市においては、今後本格的な人口の減少局面に入るとみられ、さらには高齢者人口が大きく増加することが予想されているが、現状、公共交通体系を考える上では、将来的な人口推計や居住誘導、公共施設の適正配置計画などを踏まえた議論や検討・協議が行われていないため、まちづくりと連携した交通計画の策定が必要となる。本市では平成27年度から平成28年度までの2ヶ年をかけて、集約都市形成支援事業費補助金を活用し、立地適正化計画の策定を進めているところであるため、これとあわせて、地域公共交通網形成計画を策定し、まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークを形成したいと考えている。

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

本市では、平成 27 年 4 月に市役所・市民病院へのアクセス利便性向上（市役所・市民病院への直行運行、開庁時間に合わせたダイヤ設定）や、民間路線バスやコミュニティバスの停留所の圏域を 500m とした交通空白地の解消、各コース 1 時間に 1 本程度という運行間隔の設定をコンセプトとして、市内の南部・中部・西部・北里地区において、コミュニティバスの再編を実施した。また、残る北部・東部地区については、平成 25 年 8 月から平成 26 年 7 月までデマンド型乗合タクシーの実証運行とその検証をした結果、定時定路線型のコミュニティバスを運行することを決定し、平成 28 年 4 月に再編を行ったところである。

一方で、コミュニティバスの見直しについては 3 年ごとに検討することとしているが、利用状況や環境の変化等によるサービス水準の変更についての方針や指標が明確には定められていない。また、利用促進については、現在、任意の市民団体である「公共交通利用促進協議会」が主体的に行っているものの、小牧市地域公共交通会議との連携はなく、計画性を伴った活動となっていない状況にある。さらに、平成 28 年度に立地適正化計画の策定も予定していることから、まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークを構築していく必要がある。

以上のことから、コミュニティバス再編後の現状整理やニーズ把握をした上で、公共交通ネットワークの評価に関する事例を研究するとともに、住民懇談会等を通じて利用促進策を取りまとめる等、地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査を実施するものである。

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
地域特性と公共交通の現状整理	<p>総合計画や都市マスタープランなどの上位・関連計画に示されている地域特性を整理するとともに、人口推移・分布、公共施設や医療機関、商業施設などの立地状況を整理する。また、観光と公共交通の連携という観点から、観光・文化施設の立地状況や入込客数を整理する。</p> <p>そして、過年度に実施された各種調査結果等をもとに、交通需要目的、手段割合や推移、都市間及び地域内の移動特性を把握するとともに、需給バランスの動向を把握するため、提供されている公共交通サービスの内容や利用者数、運行経費等の推移を整理する。</p>
公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析	<p>他都市における評価指標などの事例を収集・分析し、利用状況や環境の変化等によるサービス水準の変更についての方針や指標を定める上での研究を行う。</p>
各種ニーズの把握	<p>■市民アンケート</p> <p>多様化する公共交通に対するニーズや、公共交通の確保・維持に関するあり方を検討する上で必要となる基礎的数値を把握するため、15歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートを実施する。当アンケート調査では、策定中の立地適正化計画の基本方針案などを示しながら、コンパクトシティ化を図る上での公共交通に対する市民意向についても把握に努める。</p> <p>■企業・教育機関アンケート</p> <p>企業や教育機関（高校・大学）への通勤・通学実態を把握するため、市内に立地する大規模事業所及び大学・高校を対象にアンケート調査を実施する。</p> <p>■利用者ヒアリング・アンケート</p> <p>市内のバス路線（名鉄バス、あおい交通、こまき巡回バス）の利用者及び中央道桃花台バス停利用者を対象に、乗降バス停、利用目的・頻度等の利用実態を把握するため、ヒアリング調査を実施するとともに、満足度や重要度、改善点等を把握するため、利用者アンケートを実施する。</p> <p>■住民懇談会</p> <p>地域住民の声を聞く場として、市内を6地区に区分し、グループワーク形式の懇談会を各地区1回開催する。</p>

(案)

地域公共交通の課題整理	地域特性と公共交通の現状整理結果及び各種ニーズ調査結果を踏まえ、まちづくりや観光と連携した持続可能な公共交通ネットワーク形成を行う上での課題を整理する。
協議会の開催	地域公共交通網形成計画の検討にあたり、本市の地域公共交通のあり方や計画に位置付ける各種事業の協議・調整のため、小牧市地域公共交通会議を開催する。 会議は年5回程度の開催を予定しており、平成28年度においては、計画素案から行動計画に係る部分を除いた「小牧市地域公共交通網形成計画（基本方針案）」を作成する。

4. スケジュール				
実施項目	4月	9月	12月	3月
地域特性と公共交通の現状整理		←→		
公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析		←→		
各種ニーズの把握		←→		
地域公共交通の課題整理		←→		
協議会の開催	↔	↔	↔	↔

(案)

様式第5-1 別紙

5. 予算計画				
実施項目	総事業費 (見込み)	補助対象経費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
地域特性と公共交通の現状整理	647 千円	647 千円	90 千円	557 千円
公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析	239 千円	239 千円	33 千円	206 千円
各種ニーズの把握	22,902 千円	22,902 千円	3,171 千円	19,731 千円
地域公共交通の課題整理	476 千円	476 千円	66 千円	410 千円
協議会の開催（運営支援）	1,127 千円	1,127 千円	156 千円	971 千円
協議会の開催（委員報酬等）	609 千円	609 千円	84 千円	525 千円
合計	26,000 千円	26,000 千円	3,600 千円	22,400 千円